

2007年度 使用済燃料の受入れ計画について

受入時期	受入れ数量	輸送容器型式・基数	搬出元
変更前 (2007年6月28日公表)	PWR 燃料 42体・約17トンU	NFT-14P型・3基	北海道電力(株)泊発電所
	BWR 燃料 88体・約15トンU	NFT-22B型・4基	東北電力(株)女川原子力発電所
	BWR 燃料 532体・約91トンU	NFT-38B型・14基	東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所
	PWR 燃料 60体・約22トンU	NFT-10P型・6基	関西電力(株)美浜発電所
	PWR 燃料 42体・約19トンU	NFT-14P型・3基	〃 大飯発電所
	PWR 燃料 56体・約26トンU	NFT-14P型・4基	〃 高浜発電所
	BWR 燃料 88体・約15トンU	NFT-22B型・4基	中国電力(株)島根原子力発電所
	PWR 燃料 56体・約22トンU	NFT-14P型・4基	四国電力(株)伊方発電所
	PWR 燃料 84体・約36トンU	NFT-14P型・6基	九州電力(株)玄海原子力発電所
	PWR 燃料 56体・約26トンU	NFT-14P型・4基	日本原子力発電(株)敦賀発電所
第3四半期	BWR 燃料 128体・約22トンU	NFT-32B型・4基	東北電力(株)女川原子力発電所
	BWR 燃料 152体・約26トンU	NFT-38B型・4基	東京電力(株)福島第二原子力発電所
	BWR 燃料 228体・約39トンU	NFT-38B型・6基	中部電力(株)浜岡原子力発電所
	PWR 燃料 56体・約26トンU	NFT-14P型・4基	関西電力(株)高浜発電所
	PWR 燃料 70体・約32トンU	NFT-14P型・5基	九州電力(株)玄海原子力発電所
第4四半期	BWR 燃料 190体・約33トンU	NFT-38B型・5基	東京電力(株)福島第二原子力発電所
	BWR 燃料 76体・約13トンU	NFT-38B型・2基	〃 柏崎刈羽原子力発電所
	PWR 燃料 30体・約12トンU	NFT-10P型・3基	関西電力(株)美浜発電所
	PWR 燃料 56体・約26トンU	NFT-14P型・4基	〃 大飯発電所
	PWR 燃料 42体・約19トンU	NFT-14P型・3基	〃 高浜発電所
合計2,132体 約538トンU (注:受入れ数量の各社のトンUならびに合計値は、それぞれ端数処理した値)			
※使用済燃料受入れ・貯蔵施設における第1チャンネルボックス切断装置および燃料取扱装置に関する耐震計算の誤入力事象を踏まえ、安全を最優先として使用済燃料の受入れを見合わせていることから、第1四半期に計画していた受入れについて暫定的に第2四半期に変更した。			
受入時期	受入れ数量	輸送容器型式・基数	搬出元
変更後	BWR 燃料 88体・約15トンU	NFT-22B型・4基	東北電力(株)女川原子力発電所
	BWR 燃料 114体・約20トンU	NFT-38B型・3基	中部電力(株)浜岡原子力発電所
	BWR 燃料 96体・約17トンU	NFT-32B型・3基	〃
	PWR 燃料 30体・約12トンU	NFT-10P型・3基	関西電力(株)美浜発電所
	PWR 燃料 28体・約13トンU	NFT-14P型・2基	〃 大飯発電所
	PWR 燃料 56体・約26トンU	NFT-14P型・4基	〃 高浜発電所
	PWR 燃料 42体・約17トンU	NFT-14P型・3基	四国電力(株)伊方発電所
	PWR 燃料 112体・約49トンU	NFT-14P型・8基	九州電力(株)玄海原子力発電所
第4四半期	BWR 燃料 190体・約33トンU	NFT-38B型・5基	東京電力(株)福島第二原子力発電所
	PWR 燃料 30体・約10トンU	NFT-10P型・3基	関西電力(株)美浜発電所
	PWR 燃料 70体・約32トンU	NFT-14P型・5基	〃 大飯発電所
	PWR 燃料 56体・約26トンU	NFT-14P型・4基	〃 高浜発電所
合計912体 約269トンU (注:受入れ数量の各社のトンUならびに合計値は、それぞれ端数処理した値)			
※使用済燃料受入れ・貯蔵施設における第1チャンネルボックス切断装置および燃料取扱装置に関する耐震計算の誤入力事象を踏まえ、安全を最優先として使用済燃料の受入れを見合わせていたことから、受入れ計画を変更した。			

使用済燃料の取得計画及び予定再処理数量

(単位：t・U_{pr})

年度	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
取得計画	8	24	96	340	312	0	524	425	<u>540</u>	<u>269</u>	551	711	702	800
予定 再処理数量									140	<u>315</u>	<u>330</u>	<u>493</u>	<u>653</u>	800
貯蔵量	8	32	128	468	780	780	1304	1729	<u>2129</u>	<u>2083</u>	<u>2304</u>	<u>2521</u>	<u>2570</u>	<u>2570</u>

注：・t・U_{pr}は照射前金属ウラン質量換算。

- ・数値は端数処理しており、一致しない場合がある。
- ・貯蔵量は輸送容器（キャスク）に収納されている使用済燃料も含む。
- ・アクティブ試験（H18.3～H20.2）に用いる使用済燃料は、約430 t・U_{pr}である。

(参考)

平成19年1月に公表した計画

(単位：t・U_{pr})

年度	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
取得計画	8	24	96	340	312	0	524	425	557	523	551	711	702	800
予定 再処理数量									140	392	373	533	694	800
貯蔵量	8	32	128	468	780	780	1304	1729	2146	2277	2456	2633	2641	2641

注：・t・U_{pr}は照射前金属ウラン質量換算。

- ・数値は端数処理しており、一致しない場合がある。
- ・貯蔵量は輸送容器（キャスク）に収納されている使用済燃料も含む。
- ・アクティブ試験（H18.3～H19.11）に用いる使用済燃料は、約430 t・U_{pr}である。